

# つながりの中で暮らすための これからの住まいまちづくり

250916 30分 @ 令和7年度 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

**大月敏雄**

東京大学 建築学専攻・高齢社会総合研究機構・復興デザイン研究体

# 町を居場所にするために 居場所で住まいと町をつなぐ



1995年  
阪神淡路大震災  
テント村、ポートアイランド、西神ニュータウン

孤独死200人を超える

スーパーにどう行くのか？

2016年11月4日

神戸新聞夕刊読者投稿欄『イイミミ』から

## ◆理解に苦しんでいます

住んでるマンションの管理組合理事をやってるんですが、先日の住民総会で、小学生の親御さんから提案がありました。

「知らない人にあいさつされたら逃げるように教えているので、マンション内では挨拶をしないように決めてください。」

子どもにはどの人がマンションの人かどうかは判断できない。教育上困ります、とも。すると、年配の方から

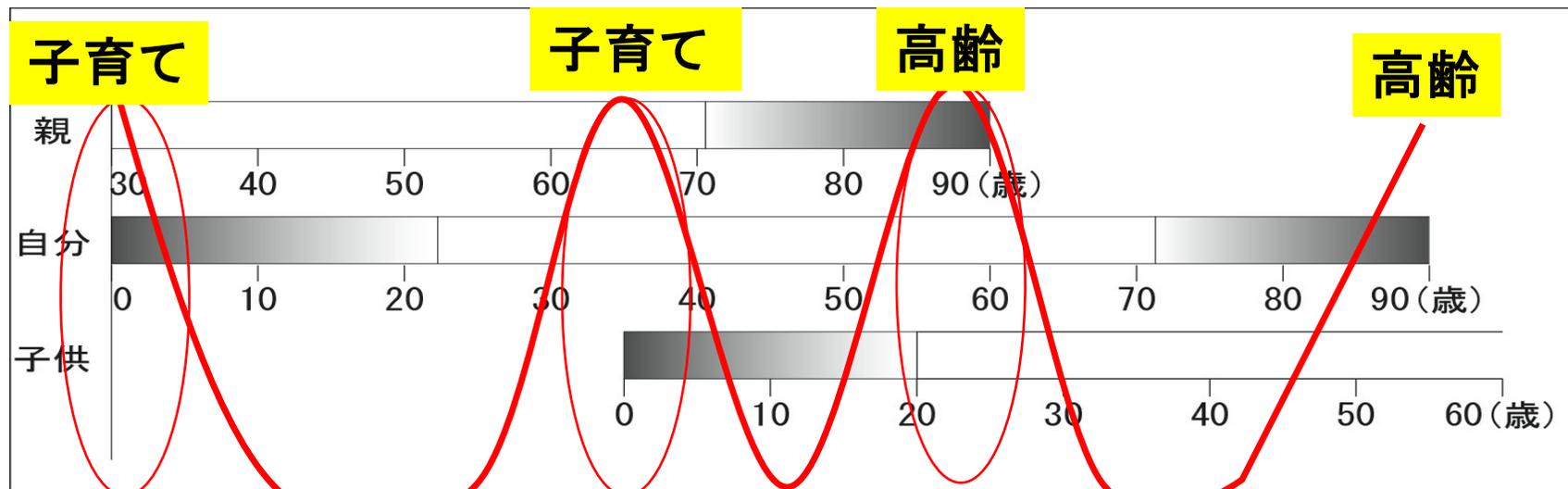
「あいさつをしてもあいさつが返ってこないなので気分が悪かった。お互いにやめましょう」

と、意見が一致してしまいました。

その告知を出すのですが、世の中変わったな、と理解に苦しんでいます。



コミュニティが大事かプライバシーが大事か？  
地域においては「両方大事」しかあり得ない。

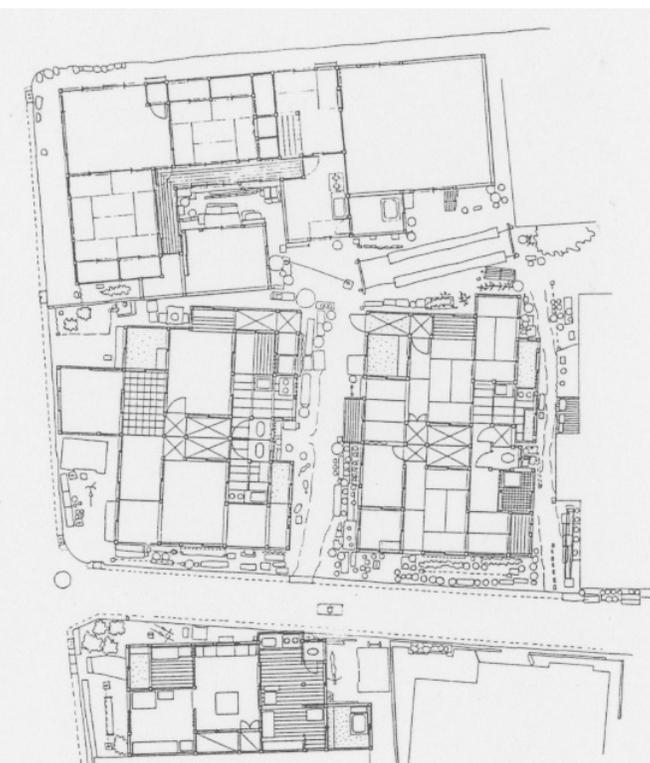


多様な町はホワイトノイズ状態  
いつでも、地域では、どっちも大事な人ばかり

1990年 荒川区南千住8丁目(汐入研究)



お花畑  
顔役  
おばあちゃん  
行商



# 82年前の仮住宅の経験

1923(大正12)年  
関東大震災

1924(大正13年)  
財団法人同潤会設立

## ■仮住宅事業

大正13年度

7ヶ所、2,160戸

※復興住宅と同時建設



方南仮住宅、授産場。  
(同潤会『同潤会十年史』1934)

# 同潤会仮住宅事業一覧(『同潤会十年史』より)

住宅名	方南	平塚	中新井	碑衾	奥戸	砂町	塩崎町	
所在地	杉並区方南町	荏原区中延町	板橋区中新井町	目黒区衾芳窪町	葛飾区上平井町	城東区北砂町八丁目	深川区塩崎町	
敷地面積	10,289坪	5,571坪	4,266坪	6,000坪	5,859坪	4,220坪	5,495坪	
坪当地代	5.5銭	12.0銭	6.0銭	8.0銭	5.0銭	12.0銭	20.0銭	
借入年月日	大正13年10月10日	大正13年10月12日	大正13年10月22日	大正13年12月3日	大正13年10月10日	大正13年10月11日	大正13年11月14日	
工事着手年月日	大正13年10月7日	大正13年10月21日	大正13年10月21日	大正13年10月7日	大正13年10月7日	大正13年10月7日	大正13年11月17日	大正14年2月13日
工事竣工年月日	大正13年11月25日	大正13年11月25日	大正13年11月17日	大正13年11月17日	大正13年11月17日	大正13年11月17日	大正13年11月12月30日	大正13年11月3月2日
戸数	405戸	304戸	238戸	291戸	312戸	256戸	(第一期)229戸	(第二期)123戸
転用	9戸を授産場 ^ 18戸を託児所 ^	8戸を授産場 ^ 16戸を託児所 ^				18戸を託児所 ^		
託児所	●	●				●		
授産場	●	●						
救助費給与	●	●	●	●	●	●		●
訪問婦	●	●	●	●	●	●		●
仮設浴場	●	●		●	●	●		●
診療所	●	●	●	●	●	●		
小資融通及び人事相談	●	●	●	●	●	●		
職業相談	●	●	●	●	●	●		



最初に竣工した陸前高田市立 第一中学校仮設住宅  
4月5日に抽選、36戸に対し1,160世帯が希望。  
しかし、過去の経験を活かす暇はなかった



- 仮設店舗・スーパーの誘致
- サポートセンター内に診療所を設置
- 各部分を路地デッキでつなぐ
- 極力整地しない

	6坪	9坪	12坪	計(戸)
ケアゾーン	15	30	15	60
子育てゾーン		10		10
一般ゾーン	47	76	47	170
計(戸)	62	116	62	240



ケアゾーンと店舗とサポセン



釜石市平田(へいた)第六仮設住宅 2013. 04



## •後方支援型

- 600人を超える避難者
- 往復切符

## •市街地型の仮設住宅

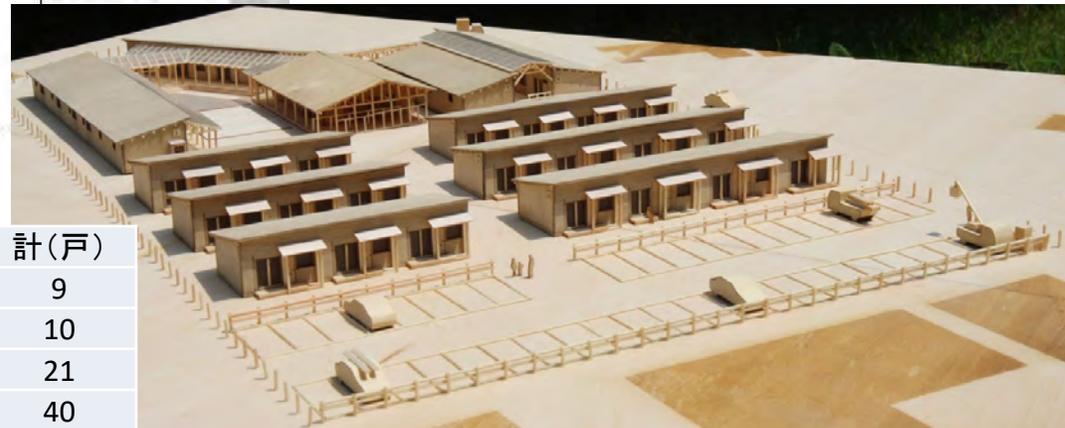
- 利便性(医・職/食)の確保
- 隣接コミュニティからの支援

## •地場産材の利用

- 既存大型集成材工場
- 地元建設会社の採用。雇用

## •本設移転計画

- 7.5坪(25㎡)で、サービス付き高齢者住宅への転用



	7.5坪	9坪	12坪	計(戸)
ケアゾーン	5	4		9
子育てゾーン	4	4	2	10
一般ゾーン	2	15	4	21
計(戸)	11	23	6	40

隣地穀町公園から遠景



ケアゾーン



子育てゾーン

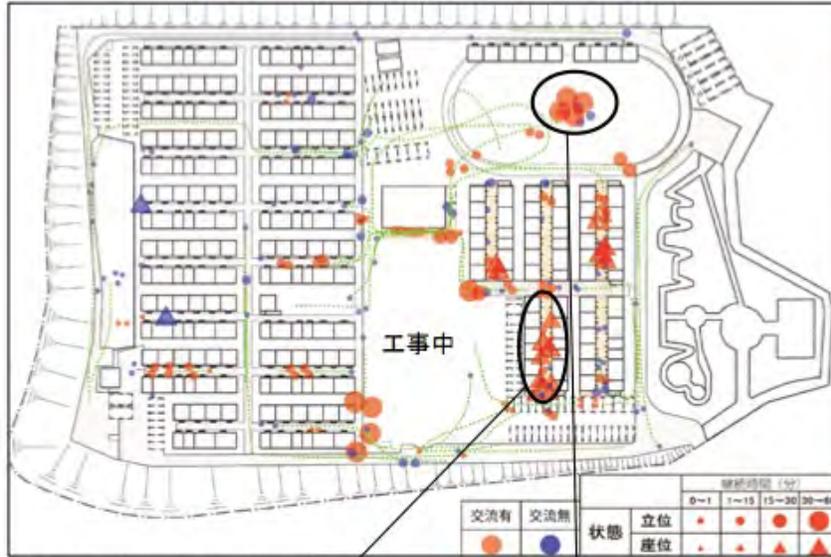


世代間交流



### 3-4. 行動実態(位置)

- 1. 序論      2. 顔見知りの特徴      3. 空間の使い方
- 4. 空間の使い方と交流の関係      5. 考察



休日の行動観察結果



平日の行動観察結果



デッキ上でお茶っこ  
(女性)

路地での交流



広場での遊び  
(子供)



コインランドリーで会話  
(男性)



デッキの手摺越しに  
景色を眺める→交流



東側の公園で会話  
(男性)

路地から離れた場所での交流



## 鹿児島 NAGAYA TOWER(厳密には一般賃貸)



NAGAYA TOWER

ちょっとかわった賃貸住宅

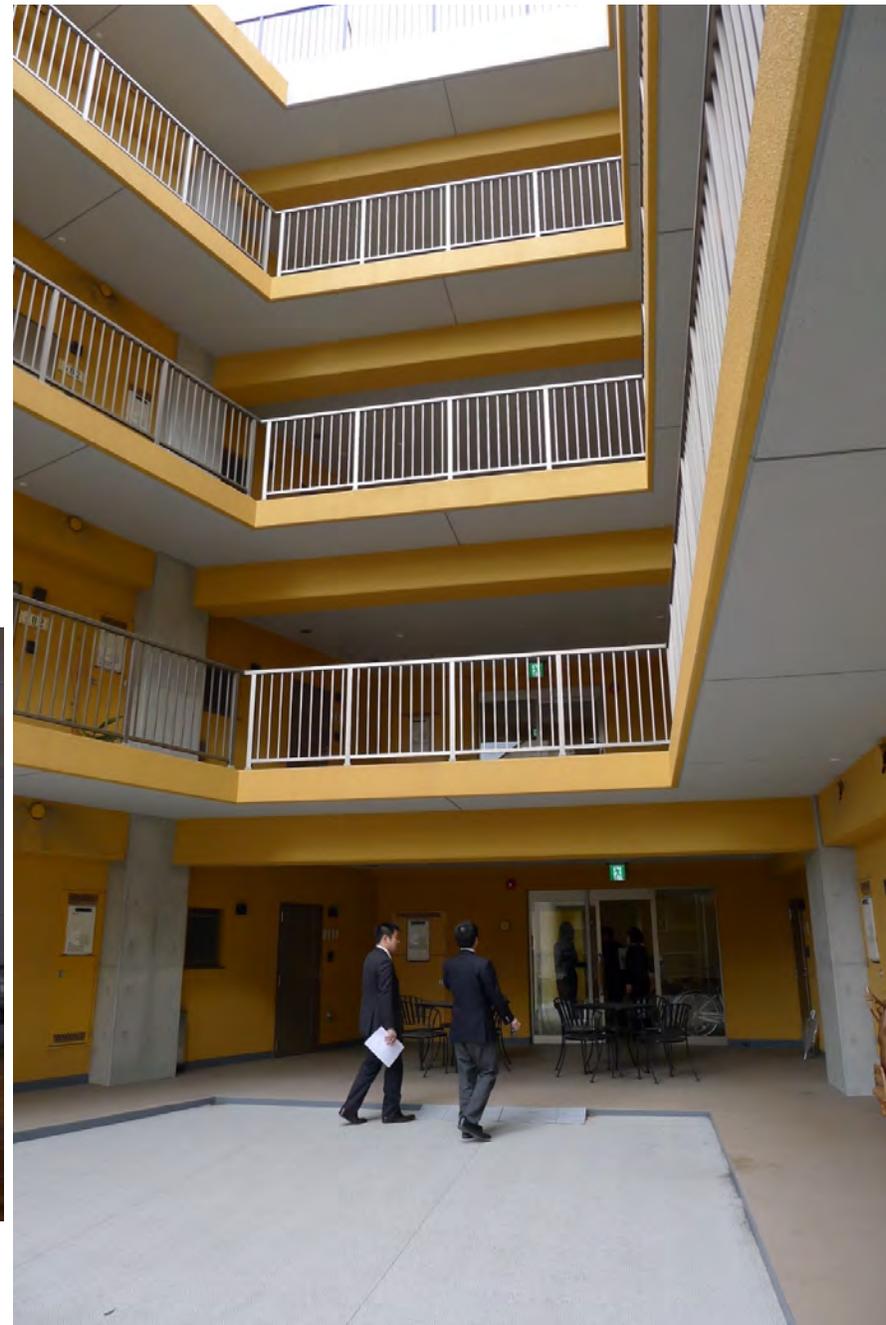
3-6階 賃貸住宅(大きな住戸から小さな住戸まで)

2階 シェアハウス(年代を問わない)

1階 コンビニ・障がい児保育・カフェ・ネイルサロン

2階のコモンリビングの上は中庭  
3階以上は多様な賃貸住宅

2階のコモンリビング  
キッチン・ダイニング・リビング・ピアノ  
3階以上の人も利用可



# ファミリーホーム 富永さんち

## 小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）

ファミリーホームとは、保護者のいない又は、保護者による養育が困難な子どもたち（5～6人）を養育者の家庭に迎え入れて養育する第二種社会福祉事業です。

### 「富永さんち」の特徴

富永さんちは、中央駅すぐ近くのNAGAYA TOWER内にあります。NAGAYA TOWERは、江戸時代の長屋をイメージした老若男女が住まい相互扶助を目指す建物です。富永さんちの子どもたちは、建物内のおいちゃん・おばあちゃん・ご近所さんとの交流を通じ、見守られながら育ちます。

街中だけの生活だけではなく、子どもたちに様々な体験をしてもらうために、富永さんち所有の農園でタケノコ狩り、栗や柿の収穫を行います。また、多くのボランティアやサポーターの協力を得て、できるだけ子どもたちの学習意欲や、お稽古事などの希望をかなえていきたいと思っています。

富永さんちは、同一敷地内の診療所 堂園メディカルハウスや児童発達支援事業所まふいんと連携しながら子どもたちを育てます。

### 私たちの理念

私たちは「育った環境・学んだ教育」を基本理念とし、子どもたちにより良い環境、より良い教育を提供します。そして子どもたちが、心身共に健やかに成長し、将来健全な社会人として自立できるよう、支援していきたいと考えています。

### 富永 正壽

1955年生まれ。4年新大学社会福祉学科卒業。児童養育施設で23年間勤務。命や生きがいを大切に。笑い、喜び、楽しむことを大切に。

### 富永 康代

1975年生まれ。幼稚園・小学校教諭を経て退職。各地児童養育施設で勤務を経て、子どもたちにより良い環境、育ちの場を築きたいと思っています。



NAGAYA TOWER

家庭での養育が必要な子どもたちの為に力になりたいとファミリーホームを始められた富永さん。ご夫婦のおだやかなお人柄に子どもたちだけでなくナガヤタワーの住人も癒されています。また、住人も子どもたちを「富永さんちの〇〇ちゃん」と見守っています。

# 身寄りない子 進学への支援を

身寄りがない子どもたちが大学や専門学校に進みたいけど、進学費用への公的助成はない。返済不要の奨学金は少なく、返済負担を軽減するケースが目立つ。そんな子どもたちの進学に協力を呼びかける募金が、鹿児島県内の施設の手で始まった。子どもたちの夢実現に向け、支援メニューをつくりたいとの試みだ。



## 鹿児島市の施設 基金設立へ募金開始

取り組んでいるのは、鹿児島市の住民参加型集合住宅「NAGAYA TOWER」内のファミリーホーム「富永さんち」。保護者の養育が困難な子どもたちを受け入れる。将来自らは「困窮する」大

立できるような家庭的雰囲気の中で育てていく。現在7歳から18歳の3人が利用する。県子ども福祉課によると、要保護児童が大半で、進学費用に関する援助はない。厚労省によると、13年の高校卒業生

進学等自立生活支援費が支払われる。1人8万1260円（加算措置あり）で、授業料を進学費用に充てる。率12・3％。全高生率53・2％と比較

大学・短大・高等専門学校高等課程への進学率

児童養育施設で23年間勤務。命や生きがいを大切に。笑い、喜び、楽しむことを大切に。

幼稚園・小学校教諭を経て退職。各地児童養育施設で勤務を経て、子どもたちにより良い環境、育ちの場を築きたいと思っています。

富永さんちの〇〇ちゃん」と見守っています。



沖縄  
浦添ニュータウン

